

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 5月24日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者	
住 所 栃木県小山市横倉新田520番地 氏 名 東京鉄鋼株式会社 本社棒鋼事業部 本社工場 工場長 中山 義則 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0285-27-4411	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東京鉄鋼株式会社 本社棒鋼事業部 本社工場
事業場の所在地	栃木県小山市横倉新田520番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	(2221) 製鋼・圧延業 (鉄筋コンクリート用棒鋼)
②事業の規模	製造品出荷額 407億円/年
③従業員数	309人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		

## (第4面)

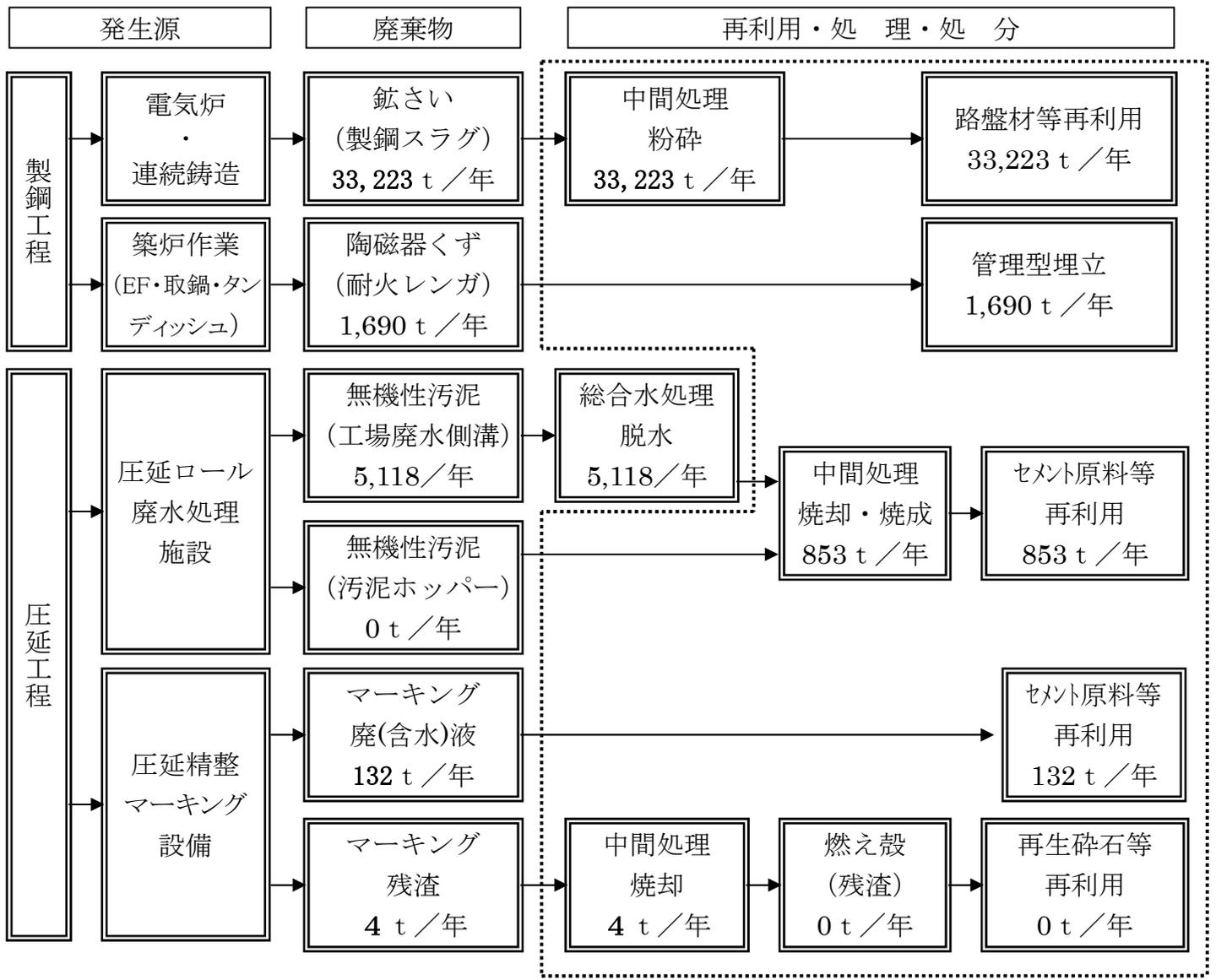
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物処理フロー図（現状）



\* 廃棄物処理の流れ →

\* 委託処理部分の範囲



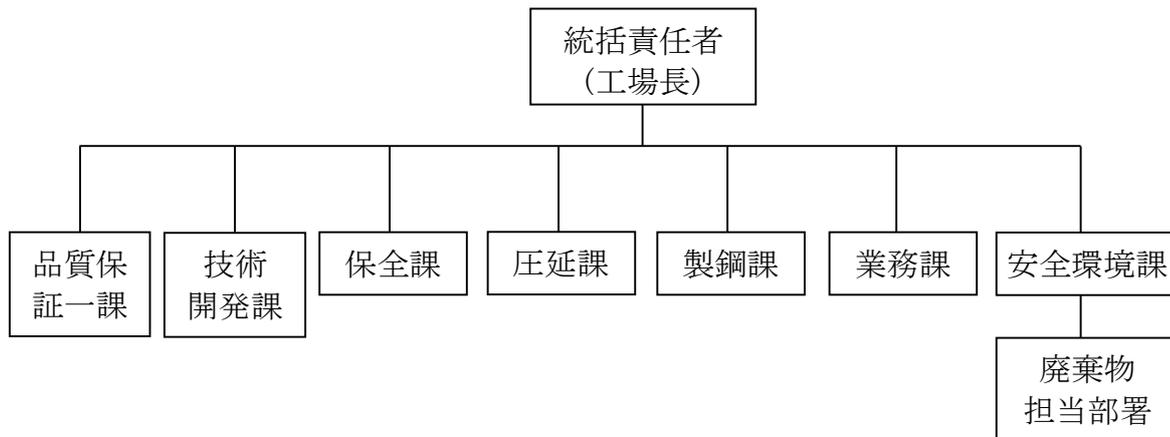
別紙 2

< 産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項 >

管理体制図

統括責任者		所 属：本社工場	職 名：工場長
廃棄物担当		組織名：安全環境課 組織人数：4人	職 名：課長
役 割	廃棄物統括責任者	①産業廃棄物発生状況・搬出・運搬・処理の確認 ②再生利用・発生抑制等と適性処理等の管理運営上に必要事項 ③産業廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認	
	廃棄物管理担当課長	①産業廃棄物処理計画の企画・立案 ②改善の実施 ③施設の維持管理・施設の操業の監視 ④運搬・処理業者の調査・選定及び管理 ⑤委託契約の締結 ⑥産業廃棄物管理票（電子マニフェスト）の交付・管理 ⑦監督官庁への報告・相談 ⑧教育・啓蒙 ⑨その他に関する事項	

廃棄物管理組織一覧



別紙3 産業廃棄物

令和4年度実績値及び令和5年度目標値

排出・処理 の区分	廃棄物の種類及び 実績・目標の別		鉱さい		陶磁器くず		汚泥		廃油		廃プラ・ がれき類
	4年度 実績 t	5年度 目標 t	4年度 実績 t	5年度 目標 t	4年度 実績 t	5年度 目標 t	4年度 実績 t	5年度 目標 t	4年度 実績 t	5年度 目標 t	4年度 実績 t
排出量	33,223	33,000	1,690	1,700	5,118	5,500	156	160	44		
自己再生利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	3,412	3,500	0	0	0		
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
全処理委託量	33,223	33,000	1,690	1,700	853	900	156	160	44		
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	1,488	1,400	853	900	156	140	1		
再生利用業者への処理委託量	33,223	33,000	0	0	0	0	24	20	0		
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※令和4年度にてがれき類 44 t / 年の産業廃棄物を排出しましたが不定期（スポット）の為、目標値は記載していません。

別紙4 産業廃棄物

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉍さい	原料の選定及び製造工程での無駄を抑制	鉄源及び合金類の電気炉への再投入を検討
陶磁器くず	製造工程及び耐火性の追求で使用回数を増進	さらなる耐火性の追求
汚泥	水処理ろ過装置の整備維持、改善	構内道路の整備による汚泥原因減少
廃油	作業員への使用方法の指導	使用量の管理強化及び減量化を検討

<産業廃棄物の分別に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉍さい	溶解作業の標準化で鉍さいの地金混入の防止	現状通りの管理
陶磁器くず	置場の区別を徹底し汚泥等の異物付着を防止	現状通りの管理
汚泥	社内の排水溝を定期清掃し油分及び異物の排水処理施設への流出を防止	現状通りの管理
廃油	—	作業員への指導を徹底し再生油と処理油の取扱いを明確化

<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉍さい	原料再資源化の研究	鉍さいの炉内投入で鉄源及び合金類の資源回収の検討
陶磁器くず	—	—
汚泥	—	—
廃油	—	—

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉍さい	—	—
陶磁器くず	—	—
汚泥	総合水処理施設の汚泥を脱水装置にて減量化	脱水装置の更新にて減量化推進
廃油	—	—

<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉋さい	—	—
陶磁器くず	—	—
汚泥	—	—
廃油	—	—

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉋さい	廃棄物の適切な管理及び法令・通達等の順守 処理委託業者への最終処分状況等の視察及び監視 処理委託先等で再生利用を行う中間処理業者を優先的に選定 (再生利用100%化の基準厳守)	現状通りの管理
陶磁器くず	同上	同上
汚泥	同上	同上
廃油	同上	同上